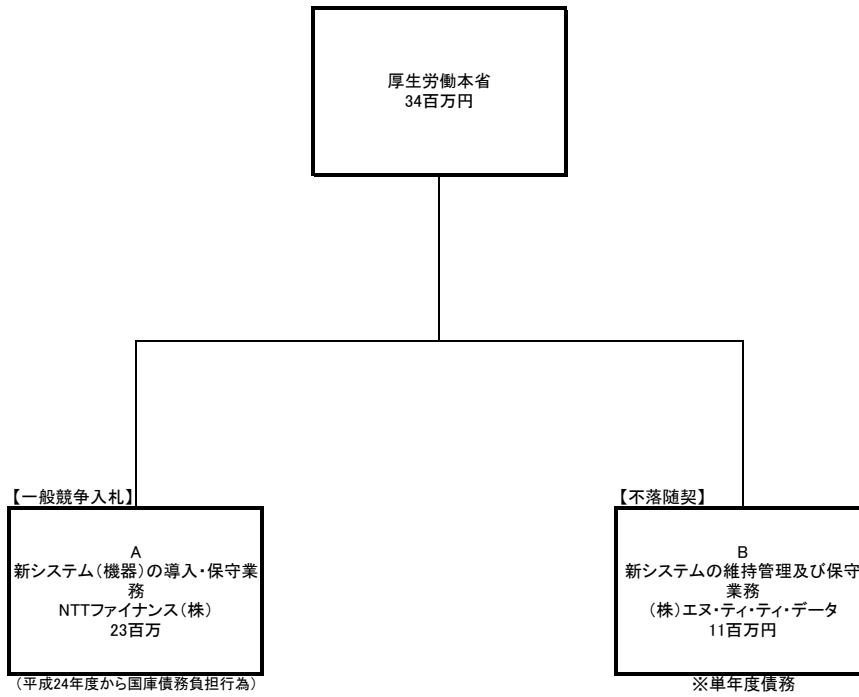


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	保険医療機関等管理システム			担当部局庁	大臣官房地方課 (保険局)		作成責任者		
事業開始年度	平成20年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	地方厚生局管理室 (保険局医療課)		伊東明彦 (地方課) (宮崎 雅則)		
会計区分	一般会計			政策・施策名	1-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	診療報酬の算定方法 (平成22年厚生労働省告示第69号)				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保険医療機関等からの施設基準等の届出情報を、地方厚生(支)局等において管理する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	保険医療機関等からの施設基準等の届出情報を、地方厚生(支)局等において管理するためのシステムの運用。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	223	163	34	34	0		
	執行額	220	158	34	-	-			
	執行率 (%)	99%	97%	100%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績					
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			保険医療機関等からの施設基準等の届出及び申請情報の効率的な管理を目的とする事業であり、平成26年度末現在で224千件の保険医療機関等のデータを管理している。					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
	保険医療機関等のデータを間接的指標とする。平成26年度末現在で、224千件の保険医療機関等のデータを管理。	保険医療機関等のデータを間接的指標とする。平成26年度末現在で、224千件の保険医療機関等のデータを管理。	実績	千件	221	222	224	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	100%	100%	100%	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	保険医療機関等からの施設基準等の届出及び申請情報の効率的な管理を目的とする事業であることから、事業の性質上、定量的な活動指標を明示することは困難なため、保険医療機関等のデータを間接的指標とする。			活動実績	千件	221	222	224	
				当初見込み	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y			単位当たりコスト	円	996	711	152	-
	X:「執行額」 Y:「保険医療機関等のデータ数」			計算式	百万円 / 千件	220/221	158/222	34/224	-
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	雑役務費	34							
	計	34	0						

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	診療報酬制度において不可欠な地方厚生(支)局等における保険医療機関等からの届出及び申請情報の管理業務のため、広く国民のニーズがあり、国費を投入し、国が実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	診療報酬制度において不可欠な地方厚生(支)局等における保険医療機関等からの届出及び申請情報の管理業務のため、国費を投入し、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	診療報酬制度において不可欠な地方厚生(支)局等における保険医療機関等からの届出及び申請情報の管理業務のため、優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	運用保守、工程管理支援、設計開発、ハード導入保守は一般競争入札又は企画競争である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	一般競争入札の実施によりコスト削減に努めており適当な水準である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	個別のシステムの運用保守及びシステム改修等であり、真に必要な最低限のものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	個別のシステムの運用保守及びシステム改修等であり、保健医療機関等のデータを管理することを代替目標にしており、効率的に管理できている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	個別のシステムの運用保守及びシステム改修等であり、十分に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	平成26年度は、システム更改(25年7月)が完了したことにより、予算額を大幅に縮小したが、これは更改にかかる費用が26年度以降は不要になったことによる縮小であるため、特段の問題はないと考える。			
	改善の方向性	今後も引き続き適正な予算の執行と不用の縮減に努める。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	638	平成23年度	578	平成24年度	515
平成25年度	260	平成26年度	272		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.NTTファイナンス(株)			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費	新システム(機器)の導入・保守業務	23			
	計		23	計		0
	B.(株)エヌ・ティ・ティ・データ			F.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費	新システムの維持管理及び保守業務	11			
計		11	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NTTファイナンス(株)	新システム(機器)の導入・保守業務(国庫債務)	23	1	99.3%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティ・データ	新システムの維持管理及び保守業務	11	1	100%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					